

## 国会中心の行政監視システムの構築に向けて

### －「参議院人事行政監視院＋衆議院会計検査院」構想－

#### 提案の趣旨

- ・ 今日、安倍一強と言われる強い内閣が、内閣人事局を通じて国家公務員の人事を強く統制しているにもかかわらず、文部科学省の天下り事件、防衛省の自衛隊日報事件、財務省の森友学園事件という重大な公務員不祥事が起きた。これは、法律を誠実に執行する義務（憲法第73条第1号）を負っている内閣が、全体の奉仕者として公共の利益の実現を責務（国家公務員法第96条第1項）とする官僚を統制できていないことを意味する。
- ・ これら事件の背景には、キャリアシステムという国家公務員の反公益的人事慣行と内閣法による行政事務の分担管理という法の制度がある。また、現行法制上、公務員の働きぶりを見張る機関としては、人事院、総務省行政評価局、会計検査院があるが、これら行政の内部統制機関はキャリアシステムと天下りによって著しい機能不全の状態に陥っており、回復の見込みがない。さらに、元々法を誠実に執行する意志が感じられない政府の存在も非常に重大な問題である。
- ・ 通常時に官僚機構を適切に統制できない機能不全の政治行政システムでは、政府は緊急時に適切に対応できるはずがない。財務省森友学園事件等を見れば、通常時において法が誠実に執行されておらず、我が国の政府と官僚機構が正常に機能していないことが明白である。主権者国民に対し法を誠実に執行し、緊急時にも適切に対応できる政府と官僚機構をつくる必要がある。
- ・ 公共の利益のために、政府と官僚機構が主権者国民に対して法律を誠実に執行するよう見張る国会の活動＝行政監視が今まさに求められている。そこで、国会中心の行政監視システムの構築に向けて「参議院人事行政監視院＋衆議院会計検査院」構想を提案することにした。